

財源の確保と経費の節減を問う



質問者
小澤 啓司 議員

町長が公約を実現するに当たり、財源の確保と経費の節減が大きな課題になっているので、下記について質問する。

① 町債残高が増加傾向にある。どのように認識されているか。

② 医療給付費の節減に向けて、町民の健康維持・増進が重要だ。新たな施策を考えているか。

③ 「ロウバイまつり」で入園料を設定した。「桜まつり」や「きらきらフェスタ」にも適用するのか。

A

町債の削減と経費節減に努める

回答（町長）



① 町税収入が減少傾向にあるなかで、安易な借入はすべきでない。投資効果や必要性を検討し、効率的な借入を心がける。

② 平成26年度から予定している「健康増進計画・食育推進計画」は、ホームページで町民の意見を募集している。国保データベースは、6月から稼働するので地域の現状把握が容易になる。健

きらきらフェスタ



康の維持増進については、介護予防を含めて100事業を展開し、心と体の健康づくりを推進している。健康寿命の延伸を図り、医療費の節減に努める。

26年度予算と総合計画との整合性を問う



質問者
飯田 一 議員

① 町の26年度予算案の概要が示され、一般会計は昨年の当初予算に比べ金額で2億円、率で5.3%の増となっている。過去数年に比べ、予算額が伸びていますが、健全財政の維持は大丈夫か。また、「松田町第5次総合計画」のまちづくりとの整合性はどうか。

② 東海大地震、富士山噴火など災害はいつ来るかも知れず、不断からの防災が大切と考えます。

③ 桜まつり会場である西平畑公園を整備する際、国からの借り入れを行ったが、入園料の徴収は適当でないという制約を受けている。

A

優先順位を考えた事業展開

回答（町長）



木造住宅の耐震改修工事の補助金はどうなっているのか。

① 各事業会計への繰出金が増加するなか、教育



西平畑公園

施設整備基金への積立金など、歳出全体で2億円の増額となった。財源としては、保育所の改修や臨時福祉給付金など、国県の補助金を見込み約9700万円を増額した。今後の施策展開や予算編成に当たっては、健全財政の維持を図りつつ、優先順位を考えた事業を実施していく。

また、総合計画との整合性については、町税の

大きな増額が想定できない状況にあるが、「安心・安全・住みやすい町」、「子育て世代支援」、「「行政改革」の柱を中心に、まちづくりアクションプログラムの目標達成に向け、着実に推進するよう指示した。

② 新耐震基準導入以前の既存建築物の耐震化については、補助制度の活用に向けたPRと、内容の充実を図る。